



長浜小だより

浜田市立長浜小学校 令和3年 2月 9日発行

校長 濱崎 政寿

2月号

【教育目標】：自立と共生を目指し、豊かな心と確かな学力を
持ち、健康で明るくたくましい児童の育成

学習発表参観日

新型コロナウイルス感染防止のために、例年11月に実施しています学習発表会を1月と2月に分けて、学年毎に発表時間も変えて学習発表参観日として実施しています。

1月22日（金）は、1・5・6年生の学習発表参観日でした。



4校時は、1年生が「できるようになったこと発表会」をしました。さくらんぼ計算、なわとび、ダンス、マットを披露しました。そして、「きらきらぼし」を鍵盤ハーモニカで演奏し、「ベストフレンド」を歌いました。体育館の舞台での演技や演奏は初めてでしたので、一人一人の緊張が伝わってきました。

5校時は、5年生が社会科で学んだことを劇化した「ふるさと浜田の海」を発表しました。どんちっち三魚や魚を獲る漁法など、どんなことを学習しているのか、よくわかりました。また、浜田の海について学んでの自分たちの決意も発表できました。高学年らしい発表で最高学年に向けての意欲が伝わってきました。

6校時は、6年生が合奏・合唱を披露し、修学旅行について発表しました。最初に「紅蓮花」を合奏しました。そして、修学旅行見学先の中から、石見銀山、松江城、加納美術館を選んで、その見学先で学んだことを詳しく発表しました。予定を変更しての県内での修学旅行でしたが、たくさんの学びがありました。最後に「COSMOS」を歌いました。

音楽発表会



1月21日（木）に音楽集会がありました。今年度は浜田市音楽祭が開催されませんでした。例年は6年生が出演しています。そこで、音楽集会という校内発表の場を設けました。

最初に「紅蓮花」を合奏しました。そして、「COSMOS」を歌いました。全校児童が見守るピンと張りつめた雰囲気の中で、指揮者をしっかりと見て、集中した素晴らしい演奏と合唱ができました。自分たちが練習してきたことを出し切ることができた満足感でいっぱいのように見えました。

この合奏と合唱は、1月の学習発表参観日でも披露しました。

鼓笛引継ぎ式

2月5日（金）に鼓笛引継ぎ式を行いました。昨年の12月にパートが決まり、4・5年生は、6年生に教えてもらいながらこの日まで練習を続けてきました。



最初に今年度鼓笛隊が「ドラゴンクエスト ロトのテーマ」と「校歌」を演奏しました。そして、指揮杖の引継ぎがあり、来年度鼓笛隊が「ザ ロングストデイ マーチ」と「校歌」を演奏しました。

4～6年生の新旧鼓笛隊の演奏・演技を1～3年生は見たり、聞いたりしました。その眼差しは真剣で、上級生に対するあこがれの気持ちが伝わってきました。進級してから、練習を重ねてさらによいものにしてほしいと思います。



多くの保護者の皆様方にも見ていただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

紙漉き体験 6年生

6年生がふるさと教育の一環として三隅町の石州和紙会館で紙漉き体験をしました。「石州半紙」の技法は重要無形文化財に指定され、「石州和紙」は国の「伝統的工芸品」に指定されています。

石州和紙会館の展示室で材料や製造工程についての映像資料を視聴した後、工房で紙漉き体験をしました。まず、漉き船に水と紙料、トロアオイの粘液を入れて、まぜ棒で均等に分散させ、簀（す）ですくいあげます。その後、圧搾・干板貼り・乾燥などの工程を経て、自分で飾り付けたオリジナル和紙の完成です。はがき大で、いろいろな使い方ができると思います。



原料のクワ栽培から約20の工程を経て、和紙になるのが驚きだったようです。クワやミツマタ、トロアオイなどの実物や用具が工房に展示してありましたので、関心を持って見学していました。ふるさとのよさを感じることができたと思います。



3月の卒業式で受け取る証書は「石州和紙」です。「石州和紙」の歴史や製造工程、製品について知る今回の学習は、6年生にとって意義深い学習になったと思います。

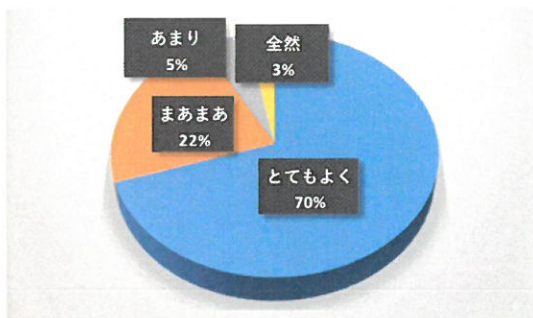


意識調査の結果から

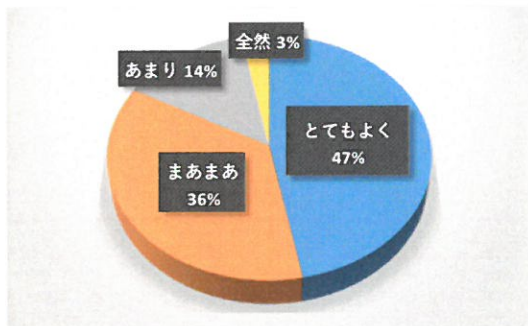
長浜小学校では、これまでの教育活動を振り返り、今後の指導に生かしていくために、保護者・児童対象アンケートをそれぞれ12月に実施しました。この「長浜小だより」で結果の一部についてお知らせします。

《児童対象》

【運動会では、自分たちのよさを出すことができましたか】

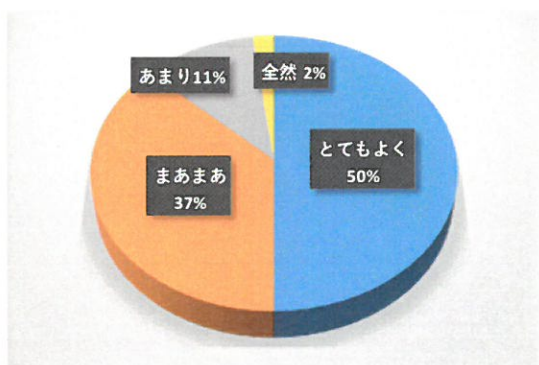


【家や学校のまわりの「人、もの、こと」とふれあう学習をしていますか】



《保護者対象》

【学校だより、学級・学年だよりなどで学校の情報が伝わってきますか】



児童対象アンケートでは、感染防止のための多くの制約のなかで実施した運動会に対して肯定的な評価が高かったのがよかったです。「『人・もの・こと』とふれあう学習をしていますか。」の質問に対しての肯定的な評価は昨年よりも約10%減でした。

感染防止を徹底しながら、教育活動を充実していきたいと思えます。

保護者対象アンケートでは、「学校だより、学級・学年だよりなどで学校の情報が伝わってきますか」の質問に対して、87%の保護者の方に肯定的評価をしていただいています。コロナ禍の収束は现阶段では見通すことができません。だからこそ、今まで以上に学校から情報を発信していきます。

調査の結果を踏まえ、今後もご家庭や地域の皆様方のご理解やご協力をいただきながら、しっかり連携して教育活動を推進していきたいと思えます。

余話

これからの時代に向けた教育環境の整備や最適な教育を実現させるために文部科学省が「GIGAスクール構想」を提唱し、いろいろな事業を推進しています。

浜田市においても校内通信ネットワーク環境が整備され、4月から全ての児童・生徒が自分専用のタブレット端末を使って学習ができるようになります。

1人1台の端末を持つことによって、子どもたちの学びはどのように深化・転換していくのでしょうか。例えば、一斉学習においては、教師が電子黒板などを用いて授業を行い、子どもたちの興味・関心を高めることは可能です。1人1台の端末があれば授業中でも1人1人の反応を把握でき、きめ細やかな指導が可能となり、さらに深い学びを得ることができます。

また、個別学習では、1人ずつ端末を所持することにより、レベルにあった内容を学習でき、学習履歴が記録できれば1人1人の教育的ニーズや理解度に応じた指導が可能です。

さらにグループ学習では、端末活用により1人1人が集めた情報を即座に共有でき、共同編集がしやすく、全ての子どもが情報の編集を経験でき、多様な意見にも触れられるという利点があります。

OHP（オーバヘッドプロジェクター）やスライド映写機が最新視聴覚機器であった三十数年前の私が新採用員の頃とは、まさに隔世の感があります。「GIGAスクール構想」やタブレット端末の操作、情報モラルなどについての教職員対象のオンライン研修や動画研修が2月、3月に予定されています。児童を指導する側もしっかり学んで、タブレット端末の効果的な活用を図り、子どもたち1人1人が持っている力を伸ばしていきたいと思えます。



3月行事

- 2日（火） お話プレゼント
- 4日（木） 児童総会
- 5日（金） 6年生を送る会
- 19日（金） 卒業証書授与式
- 20日（土） 春分の日
- 23日（火） 給食終了
- 24日（水） 修了式 離任式
- 25日（木） 学年末休業開始

